

解決策
1

施設の量の抑制・圧縮

人口減少の今、新たに施設を整備する場合には、同程度の施設数や床面積を削減し、施設の総量を抑制することが避けられません。

また、既存の施設は、施設の配置状況、建物の老朽化の状況、利用状況をもとに、複合化、機能転換、統廃合の可能性を検討する必要があります。

解決策
2

ハード・ソフトの両面からの検討

ハード面では、老朽化した施設の数や床面積を抑制したり、長寿命化を図ることで管理経費の支出を平準化することが求められます。

ソフト面では、民間資本やノウハウの導入を検討します。また、町民の協力で管理運営方法を見直し、施設使用料などの負担のあり方についても検討する必要があります。

解決策
3

施設の有効活用と効率性

あまり利用されていない施設は、その必要性を考えなくてはなりません。また、すべての地区に同じ目的の施設を整備するのではなく、各地区が連携、補完しあうことも必要です。施設の性質や利用頻度によっては、国見町だけではなく、他市町村の施設を活用することも検討しなくてはなりません。

解決策
4

町民と行政との相互理解と協働

公共施設の安易な統廃合で国見町の人口流出、地域の衰退、過疎化に拍車がかかっては何の意味もありません。

国見町の全ての公共施設は、町民のための施設です。様々な視点から、町民と行政が同じ目線で現状を把握し、公共施設の目的や利用状況に応じた存廃や統合、改築、管理方法、施設使用料について一緒に考える必要があります。

ねんぷいにするか。

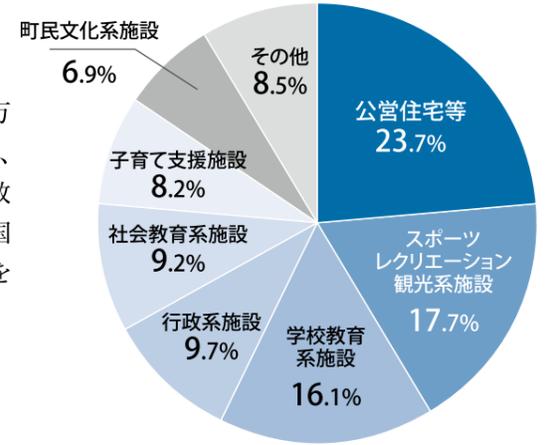


国見町公共施設等総合管理計画
個別施設計画はこちらからご覧ください。



それで、国見町の施設ってどのくらいあるの？

現在の公共施設(建築物)の延床面積合計は約6.0万㎡です。その内訳は、大きい順で公営住宅等が23.7%、スポーツ・レクリエーション観光系施設が17.7%、学校教育系施設が16.1%と続きます。また、令和2年10月の国勢調査による8,639人を基に、人口一人当たりの面積を見ると公共施設(建築物)で7.0㎡となっています。



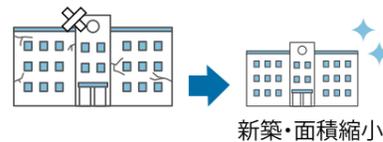
公共施設の面積

施設の種別	施設数	面積(㎡)	割合	主な施設
公営住宅等	13	14,336	23.7%	板橋南団地、日渡団地、滝山団地など
スポーツ・レクリエーション観光系施設	7	10,692	17.7%	観月台体育館、上野台体育館、道の駅など
学校教育系施設	3	9,747	16.1%	国見小学校、県北中学校など
行政系施設	18	5,866	9.7%	役場庁舎、消防屯所など
社会教育系施設	1	5,570	9.2%	観月台文化センター
子育て支援施設	4	4,943	8.2%	くにみ幼稚園、藤田保育所など
町民文化系施設	7	4,184	6.9%	小坂農村総合管理センターなど
その他	11	5,157	8.5%	小坂ふるさと館、デイサービスセンターなど
合計	64	60,495	100.0%	

施設の方向性のイメージ

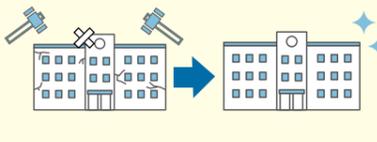
1 更新

老朽化が進んだ施設を建て替えること。原則として、床面積は縮小。



2 長寿命化

耐用年数を超えて使用できるよう大規模改修すること。



3 複合化・多機能化

1つの施設に異なる複数の機能を持たせ、効率化を図ること。



4 統廃合

施設を同じ機能の施設に統合することで保有量を最適化すること。



5 用途変更

機能を廃止し、新たな機能を保有させること。



6 譲渡

地域や民間に現状で譲渡すること。

